

水土里レポート 投稿様式

投稿月日 令和4年12月21日

タイトル 「未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2022」 展示作品取材

水土里レポーター名 水土里ネット福山 佐々田 愛

令和4年12月9日（金）東京都美術館で展示作品の取材をしました。

全国水土里ネット主催の「未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2022」には、全国から2,993点の応募があり、その中から入賞31作品、地域団体賞44作品、入選126作品が受賞されました。また、佳作203作品も併せて404作品が東京都美術館に展示されました。

水土里ネット福山からは小学校、幼稚園4校から410点を応募し、その中から入賞（企業賞）2作品、入選10作品、地域団体賞2作品を受賞し、佳作22作品も併せて展示されました。

上野駅を降りると美術館や博物館が並び、多くの人が行き来し賑わっていました。東京都美術館へ入ると都会の喧騒をよそに静寂に包まれる中、一つ一つの作品をじっくりと見ることができました。



全国から応募された作品は子ども達の農業や自然、地域を見つめる眼差しが感じられました。

自分たちの住む地域の特産物、家族や地域の人々の農業に従事する生き生きとした姿、また田んぼや水路に棲む虫などの小さな生き物を愛しむ気持ちが絵から伝わりました。

コロナ禍で農業体験などの行事が縮小され、子ども達とふれあう機会が少なくなっていますが、子ども絵画展の作品を見て子ども達の眼差しは以前と少しも変わっていないことを実感しました。

田植えや稲刈りなどの農業体験を通じ、元気な子供たちとふれあう機会が増えることを願って絵画展を後にしました。

水土里ネット福山は、引き続き農業体験に協力することで21世紀土地改良区創造運動に取り組んでまいります。